

受講番号		氏名	
------	--	----	--

2025 年度

登録造園基幹技能者講習

C 東京会場

[注 意]

1. 答は別の解答用紙に記入してください。
2. 答を訂正する場合は、消しゴムでていねいに消して訂正してください。
3. この問題用紙の余白は、計算等に使用して差し支えありません。
4. 退席の際、解答用紙とともにこの問題用紙も回収しますので、持ち帰らないでください。

一般社団法人 日本造園建設業協会
一般社団法人 日本造園組合連合会

〔問題 1〕 登録基幹技能者の役割として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 現場の状況に応じた施工方法の提案、調整
- (B) 前工程・後工程に配慮した他の職長との連絡、調整
- (C) 生産グループ内の技能者に対する施工に係る指示、指導
- (D) 元請技術者の配置、作業方法・手順の指示

〔問題 2〕 登録造園基幹技能者が担う役割に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 材料の手配、技能者への指示などの段取りと取りまとめを行う。
- (B) 造園空間の“おさまり”に関する調整及び指導を的確に行う。
- (C) 工程管理、安全管理及び他工事との調整などについて、施工管理技術者の補佐を行う。
- (D) 設計変更契約に関する入札に参加する。

〔問題 3〕 登録造園基幹技能者に必要な資質として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 饒舌すぎる事
- (B) 決断力をもって行動すること
- (C) 統率力があること
- (D) 約束を守ること

〔問題 4〕 造園工事の特性に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 石材は、現場の自然環境を保全するため遠隔地からの材料だけを使用する。
- (B) 施工現場の環境特性を把握したうえで材料を使用する。
- (C) 植物材料は、季節性を考慮して生産効率の高い遠隔地の材料を使用する。
- (D) 自然材料は、工業製品と同様に標準化が推進されている。

[問題 5] 設計の手順（プロセス）に関する一般的な流れとして、**適当なもの**はどれか。

- (A) 現地調査→設計図の作成→積算→施工計画の策定→数量計算
- (B) 現地調査→設計図の作成→数量計算→施工図の作成→積算
- (C) 現地調査→設計図の作成→数量計算→積算→設計図書の取りまとめ
- (D) 現地調査→設計図の作成→数量計算→積算→工程計画の策定

[問題 6] 木を扱う技能の特性に関する記述のとして、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 1 本植えは枝が均等に出ていて、姿がよく、氣勢に偏りがない表側を観賞位置に向けて配植する。
- (B) 2 本植えは、観賞位置から見て左右均等に氣勢が出ているように配植する。
- (C) 鑑賞位置と歩く動線、樹木の生長度合いを考慮して配植する。
- (D) 樹木の姿と寸法を重視し、周囲の景観との調和は考えないで配植する。

[問題 7] 実務に役立つ話し方に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 大きい声で抽象的に話をする。
- (B) 話すテーマを明確にして要領よく伝える。
- (C) 相手の質問を受けるのみとし、話し手からは質問はしない。
- (D) 自分の話したいタイミングで話をする。

[問題 8] 近隣に迷惑がかからないように配慮すべき対応の記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 建設機械の連続作業や休日作業によって工期の短縮を図る。
- (B) 騒音の出る作業は、人通りの少ない早朝に行い、通行人への安全を確保する。
- (C) 騒音や振動が人に与える影響や防止方法を理解し、騒音規制法・振動規制法を遵守する。
- (D) 現場周辺の清掃は近隣に迷惑をかけるので現場内に限定して行う。

[問題 9] OJT のメリット・デメリットに関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 仕事に密着した体系的、理論的な研修効果が期待できる。
- (B) 部下とのコミュニケーションが良くなり、上司と部下との相互の理解や信頼に役立つ。
- (C) ノウハウの共有化が図れ、学び合うという職場風土が醸成できる。
- (D) 計画的、継続的に実践教育ができ、フォローアップが容易である。

[問題 10] 成果の上がる指導力に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 教育・訓練を行えば、誰でも同じような能力が身に付くはずと考えて取り組む。
- (B) 部下の部分的な欠点に着目し、何度も注意点を指摘しつつ技能効果を高める。
- (C) 人を育てるにはその人の持ち味を認め、一つひとつ得意技を身に付けさせる努力をする。
- (D) やる気を起こさせるには、部下とはっきりした上下関係を持つことが大切である。

[問題 11] 建設業法に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 元請負人が予定価格 1,000 万円の下請契約を締結する際、下請負人に 4 日後を期限として見積もりを提出させた。
- (B) 施工体制台帳の作成が必要な工事において、施工体制台帳に一次下請の業者名、各業者の技術者氏名等を記載し、二次下請は、当該業者から技術者名簿の提出がなかったため記載しなかった。
- (C) 造園工事の元請負人が下請け契約を変更して 100 万円の工事を追加する際に署名をした契約書を作成し、押印は省略した。
- (D) 公共性のある重要な施設の工事において配置しなければならない主任技術者は、例外なく、当該工事現場に専任のものでなければならない。

〔問題 12〕 技能講習が必要な業務として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 作業床の高さ 9.9m の高所作業車の運転（道路上を走行させる運転を除く）の業務
- (B) 吊り上げ荷重 1t 未満の移動式クレーンでの玉掛けの業務
- (C) 吊り上げ荷重 2t の移動式クレーンの運転（道路上を走行させる運転を除く）の業務
- (D) 移動式クレーン運転者へ合図を行う者の業務

〔問題 13〕 現場における毎日の安全施工サイクルで取り組む安全活動として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 作業開始前点検
- (B) 安全表彰
- (C) 安全工程打合せ
- (D) 終業時の安全確認

〔問題 14〕 農薬安全使用のための留意点として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 農薬の空き容器は資源ゴミとして処分する。
- (B) 農薬のラベルに記載された内容以外に使用しない。
- (C) 散布作業時に農薬を浴びないように肌の露出部分を少なくする。
- (D) 農薬の使用状況を帳簿に記載し記録しておく。

〔問題 15〕 高所作業を伴う高木剪定等の共通事項として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 作業対象と作業環境を事前に調査、確認し最適な作業計画を作成し、作業手順を全作業員に周知する。
- (B) 足場の設置を原則とし、設置が困難な場合は、高所作業車の使用を優先的に検討する。
- (C) 高所作業車の使用も困難な場合は、作業に最適な滑らない靴を履いて木登りによる作業を行う。
- (D) ロープ高所作業に従事する場合は、安衛則に規定された特別教育修了が必須である。

〔問題 16〕 工程・原価・品質の相互関係の一般的な事象に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 突貫作業になると原価は安くなる。
- (B) 突貫作業になると品質は良くなる。
- (C) 品質を良くすると工程は遅くなる。
- (D) 品質を良くすると原価は安くなる。

〔問題 17〕 受注者が負う設計図書照査の範囲として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 現地測量の結果、横断図の新たな作成
- (B) 現地測量の結果、排水路計画の新たな作成
- (C) 数量計算書と設計書の内容の整合確認
- (D) 設計のための地質調査

〔問題 18〕 造園工事で使用する資材の管理に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 一般資材には、骨材、コンクリート、二次製品、鋼材、木材、すべての植物材料などがある。
- (B) 一般資材の確認において、通常流通している資材を使用する場合は、カタログなどで確認可能である。
- (C) 特注資材には、工場製作を伴う大型遊具などがある。
- (D) 特注資材の発注において、工場製作を伴う大型遊具等は、必要に応じて製作途中で工場立合検査を行う。

〔問題 19〕 屋上緑化の資材搬入における注意点として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 効率的な揚重機器の使用方法
- (B) 適切な資材の仮置き、保管場所の選定
- (C) 防水層の保護
- (D) 人工軽量土壌の育成管理

〔問題 20〕 工程管理に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) ネットワーク工程表では、多工種で複雑な工事の工程管理には不適である。
- (B) バーチャートは、工種と工期の関係が見やすく、容易に作成することができる。
- (C) ネットワーク工程表は、ガントチャートと呼ばれる。
- (D) ネットワーク工程表は、曲線式工程表の一種である。

〔問題 21〕 植栽工事の工程表作成の留意点に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 工期と植栽適期が一致していない場合には、十分な保護・養生及び施工方法に配慮する。
- (B) 植栽施工は、天候に大きく左右されるので、気象状況を考慮して余裕を持った計画とする。
- (C) 一般的に、中木→低木→高木→地被という植え付け順序に配慮した工程とする。
- (D) 植栽施工は、一般に他の工事完了後行われるため、関連工事との工程調整をする。

〔問題 22〕 植栽基盤の構造に関する次の記述の(ア)(イ)の語句の組み合わせとして、**適当なもの**はどれか。

植栽基盤＝(ア)＋(イ)

- | | (ア) | (イ) |
|-----|------|------|
| (A) | 有効土層 | 排水層 |
| (B) | 有効土層 | 不透水層 |
| (C) | 客土層 | 排水層 |
| (D) | 客土層 | 不透水層 |

〔問題 23〕 公共用緑化樹木等品質寸法規格基準(案)に関する記述として、**適当でないもの**はものはどれか。

- (A) 「高木」とは、幹が通常単幹で太くなり、枝条とは明確に区別され、樹高が高く伸びる樹木をいう。
- (B) 「低木」とは、十分に生育しても高く生長しない樹木で、樹高が一般的に 5m 以下の樹木で、幹が発達しない株立状のものをいう。
- (C) 「仕立物」とは、その樹木が本来持っている自然樹形とは異なり、人工的に樹形を作って育成したものをいう。
- (D) 「接ぎ木物」とは、樹木等の全体あるいは部分を、他の木に接着して育成したものをいう。

〔問題 24〕 造園工事における予定価格積算に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 直接工事費には、工事目的物をつくるための材料費を含めない。
- (B) 工事原価には、一般管理費等を含めない。
- (C) 現場事務所の設置や撤去に要する費用は、間接工事費に含めない。
- (D) 運搬費、準備費、安全費などの共通仮設費は、間接工事費に含めない。

〔問題 25〕 コストダウンの着眼点に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 不良率を少なくするなど、常に生産性の向上に努力する。
- (B) 借入金の利子などの見えない原価に気をつける。
- (C) 管理の期間は、1 ヶ月より 1 年間としたほうが効果が高くなる。
- (D) 間接費や固定費は管理しにくいだが、考慮する。